昭和37年度　高橋重太郎

この年には南橋、芳賀、桂苔、永明地区による前橋市有線放送農業協同組合の工事が始まりました。この有線放送は当時「北部」という名称を使っていましたが、後に（昭和49年）東部、南部と合併しております。

また、この年から団地の入居者が増え始め荒牧町は次第に大きくなってゆきます。

○37年は公明政治連盟が発足した年である。39年に公明党となる。

○東京の在住人口が1,000万人を突破した。世界初の大都市である。

○戸畑と若松を結ぶ東洋一のつり橋「若戸大橋」が開通した。３年半で完成。

○憲法調査会が東京で初の公聴会を開いた。

○北海道恵庭で農民が自衛隊の通信線を切断したとして民間人としては初の自衛隊法違反で起訴された。後に（昭和42年）無罪となる。

○この年の流行語は「わかちゃいるけど止められない」、「そのようよ」

○流行歌「いつでも夢を」、「下町の太陽」そして再び「王将」

○ヒット映画「私は２才」、「キュポーラのある町」、「切腹」、「破戒」など。

昭和38年度　高橋静雄

この年の４月に市会議員選挙があり、鯨井好一氏が３選されました。

また、この年の夏に赤痢が発生し（患者数約30人）朝令暮改はおろか、組長会議を１日に４回もやるなど、対策に大わらわでした。旧公民館で町民全員が検便をしたものです。

前年から始った有線放送の工事は１戸一人

○アメリカが原子力潜水艦の日本寄港を申し入れた。

○北九州市が誕生した。

○日本で１位、世界で第４位の規模の黒部川第４発電所が完成した。（クロ４ダム）

○松川事件で全員無罪が確定した。

○白鳥事件は２人に有罪判決があった。

○この年「お呼びでない」、「丈夫で長もち」などの言葉がはやった。

○流行歌は「高校３年生」、「今日は赤ちゃん」

が勤労奉仕に出るなどして、この年に完成し町内への連絡が密に取れるようになりました。

昭和39年度　都丸仁作(代筆)

追　憶

長い年月、転々と他県で勤務し、漸くふるさと荒牧にもどり、町内の皆様方との交りを大切にしながら、90区の区長という肩書きを拝命したのは、今から丁度20年前の39年４月でした。あと１ヶ月半という年度末の40年２月、突然心臓喘息の発作で群大に入院、１年７ヶ月の病闘生活の甲斐もなく、あれほど再起を願っておりましたのに、41年７月帰えらぬ人となりました。思いもかけない現役中の入院で、町内の皆様に大変ご迷惑をおかけしましたことを思いおこし、返す返すも残念で、申しわけなく思っております。

当時の戸数は、270戸位で組数も27組でした。町民が輪番で毎朝、常使いという名で区長宅にご用伺いに見えられ、奉仕活動として組長さんとのパイプ役をつとめて下さる伝統的な流れの中で、お互いに顔見知りともなり、朝のご挨拶も交換出来たりして、ふれあいの面ではよかったと思います。

区費徴収の予算年額は、当時25万円位で20年後の今日の520万円とは、人口増もさることながら比較対照にならない程、時代の推移をひしひしと感じます。区費の賦課基準も、↗固定資産税40％、市県民税35％、見立割10％、均等割15％という方式で、個々の税額を一人一人机上にのせるまでが大変だったようでした。納税の令書が役所から届くと、それを27組に分類する時など、つい手を出して手伝ったものでした。団地のご婦人方に荒牧町婦人会への入会を回覧でおすゝめしましたが、力不足もあって実現を見ることが出来ませんでした。８畝割や80坪などの田畑が、群馬大学の敷地に転換され、荒牧町が大きい発展へと歩み出したのもこの頃であったと思います。

大正７年に母校桃川小に代用教員として、月俸15円でお世話になったことがきっかけとでも申しましょうか、やがて念願が叶って東京の駒場に進学し、つゞいて兵庫、新潟、群馬県等の農林高校に奉職、その後、県開拓課、

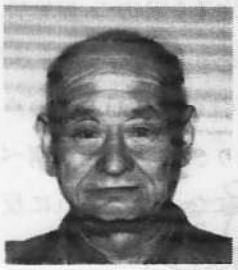
○オリンピック東京大会が開かれた。
○新潟大地震があった。
○東海道新幹線が開業した。
○池田首相が辞任し、佐藤内閣が誕生した。
○狭山事件の石川被告に死刑宣告が出た。
○この年の流行語「おれについてこい」、「シェー」、「ウルトラC」など。
○流行歌「お座敷小唄」、「アンコ椿は恋の花」、「夜明けのうた」
○ヒット映画「砂の女」、「怪談」など。

農事試験場等の農業畑に勤務し、土の匂いのしみついた生涯であったと思います。

毎年夏が来ると真赤な芙蓉の花が、とても見事に庭先にポッカリと開きます。故人が入院中、病院の庭に咲いたこの花の種子を、紙に包んで手渡してくれた20年前の一粒だねの尊い生命が今も生きつゞけているのです。

全力投球は果し得ませんでしたが、荒牧町の区長会のお仲間に入れて頂き、その伝統と歴史の中で、過去を物語る一人として、また新しい文化への進展と、よりよい未来へのともしびを受けつがせて頂くことが出来た一人として、30周年記念誌の発行にあたり改めて感謝申上げる次第でございます。新しい世代への益々の御発展をご祈念申し上げ、故人に代りましてのごあいさつといたします。

昭和40年度　高橋喜好



前年から始まった広瀬川発電所のための広瀬川改修工事が完成し、見違えるような川になりました。同時に改修した延命寺川の工事も終りました。

この年、群馬大学教養学部のための用地を売り渡しました。関根、川原を含めて３町で売った総面積は10万坪、単価は坪3,800円でした。前年に広瀬川発電所用地として県企業局へ売ったのは坪6,500円と聞きましたから、これより安かったことになります。

この年は冷害で春蚕のはき立ては５月13日と遅れました。

○昭和40年は日韓基本条約が調印された年である。

○この年、長野県松代群発地震が始った。

○東京都議会議長選をめぐる不正事件で都浅会が解散した。

○中央教育審議会は青少年のあるべき姿について「期待される人間像」という中間草案を発表した。

○自衛隊の「三矢計画」が国会で論議になった。

○この年の流行語は「しごき」、「マジメ人間」、「やったるぜ」など。

○流行歌は「柔」、「まつの木小唄」、「網走番外地」、「女の意地」、「函館の女」など。

昭和41年度　小池源郎

この年は宿前という小字の一本橋（昔１本橋がかかっていたのでその後もそう呼んでいる）現在警察の待機寮のあるところですが、ここの道路の拡張を行いました。また、国道

○早稲田大学で卒業試験にビケが張られ、学校側は学生の構内一時立入禁止をした。

○建国記念日審議会は２月１１日が建国記念日として適当と答申した。

東の桃木川の近くへ通学路をつけるために、土地を坪当り1,000円で売ったのも、この年でした。この年の特徴としては、自治会長を立候補で選んだことでした。

昭和42年度　養田隆次郎

区長より自治会長に

昭和42年、前回より11年たった。日輪寺、川端、各町による、第90区の縁は切れていた。且つこの年より区長は自治会長と改名された。時に世帯数401戸、組長28名（内団地７名）、正に大世帯に覚えた。この年南橋消防団の第一回の統合があり、荒牧、川原、日輪寺、川端、各町により一ヶ分団結成、本部が荒牧町に決定、その詰所、器具置場等、境内に建設された。又下宿にあった、火の見櫓をそのまゝ現在地に移転した時の町内挙げての素晴しかった事が瞼に浮ぶ。其の後第二回の統合があったが建物だけは残っている。

次に企業局による、広瀬川の大工事が行はれ川筋に三ヶ所の発電所ができた。又、当時は行政を口頭で行っていた。不都合でもあり時代を考え、総会の資料等、農協の（ガリバン）をお願いした事を思い出す。

○荒船清十郎運輸相が地元深谷駅へ急行を停車させるようにしたことが明らかになって辞任した。

○国会が黒い霧解散をした。

○この年の流行語「びっくりしたな、もう」

○流行歌「霧の摩周湖」、「ラブユー東京」、「星影のワルツ」など。

○アメリカのベトナム介入がエスカレートした年で、アメリカ国内でもベトナム反戦運動が活発化していて、わが国でも「アメリカはベトナムから手を引くべきだ」との声があった。こうしたおり、佐藤首相が南ベトナムを訪問することになった。これに反対する三派全学連を中心とする約2,000人が羽田空港へ結集し、警官と衝突し、大混乱となった。これを第一次羽田事件と呼んだ。

○四日市で石油コンビナート６社を相手どり初の公害訴訟裁判が始まった。

○羽田空港ビル、東京駅、新幹線車内などに時限爆弾の爆破が連続して起きた。

○自動車の保有台数が1,000万台を突破、マイカー時代に入った。

○女性のスカートのミニ化が進んだ。

○この年の流行語「ハプニング」、「ボイン」など。一方、流行歌は「世界は２人のために」、「ブルーシャトー」、「小指の想い出」、「真赤な太陽」、「君こそわが命」など。

昭和43年度　　高橋静雄

この年は高校総体（インターハイ）が行われる前年のため民宿家庭の募集を開始しました。

また、この年には国土調査(一筆調査)が南橋地区のトップを切って行われました。

このころ団地では独自で総会をやったり、下水掃除や道路のデコボコ修繕などをしておりました。

この年度の特徴としては、参議院議院選挙違反による市議会リコール運動、市議会解散による選挙が行われ、関口三代八氏が当選しました。

○アメリカの原子力潜水艦エンタープライズが佐世保に入港し、反対運動が起きた。
○全国116の大学で学生紛争が起きた。
○3ちゃん農業の主婦が勤めに出る者が増え2ちゃん、1ちゃん農業が多くなってきた。
○富山県神通川流域で多数の死者が出た件について厚生省は神岡鉱業の出したカドミウムによるものとして公害病と認定した。
○小笠原諸島が正式に返還された。
○東京、府中市で銀行の現金輸送車から3億円が奪われた。昭和50年、時効となった。
○この年国民総生産が52兆7千億となり、西ドイツを抜いてアメリカに次ぐ自由世界で第2位となった。

昭和44年度　　養田真太郎

この年はインターハイが行われ、町内でも数軒が民宿を受け持ちました。

また、この年は桃川小学校前と、団地の道路の舗装工事を行いました。

このころ、団地も次第に数が増えてきて、年に1度の総会では意をつくせないので、日まわり保育園を借りて団地の住民を対象に座談会を2回行いました。

○八幡、富士が合併して新日鉄が発足した。
○学生紛争が続く中で警視庁は警官6,800人を動員して東大安田講堂封鎖を解除した。
○連続式パチンコが15年ぶりに復活
○ミニスカートにかわりパンタロンがはやり始めた。
○佐藤、ニクソン会談で沖縄返還が決まる。
○この年の流行語「あっと驚くタメゴロー」、「ニャロメ」
流行歌「新宿の女」、「希望」、「港町ブルース」など。

昭和45年度　今井恒雄

この年は新都市計画法に基づき、市より市街化区域か調整区域かの方向を決定するよう迫られました。8月に住民投票を行ったところ、賛成多数で、市街化区域と決定しました。

この年に北部小（正式には荒牧小となる）の用地として約2町歩、坪25,000円で市へ売り渡しました。

この年に子供会育成会が結成され、同時に子供会も誕生しています。

○日航よど号が赤軍派を名のる9人にハイジャクされた。
○日本万博が大阪で行れた。
○高度経済成長の目玉である大型工場が各地に林立し、公害問題が深刻化した。
○東京銀座で歩行者天国が始まり、その後全国各地に拡がった。
○東京渋谷で初のウーマン・リブ大会が開かれた。
○この年の流行語「ハイジャク」、「わるのり」など。
流行歌「走れコウタロー」、「女の意地」

昭和46年度　高橋常治

この年の世帯数は560戸、組数は38組でした。この年は区画整理の促進について前橋市より数回の連絡がありましたが、協議の結果時期尚早ということで見送りました。

また、この年に公民館建設について委員会を結成し、いろいろ協議した結果、荒牧神社境内に、荒牧神社々務所兼公民館として許可申請をすることになりました。神社庁からは土地を無償で貸与することを含めて許可がありました。そこで、建設資金計画を立てたのですが、その内容は、町内共有地とした土地を前橋市へ400万円で譲渡し、市からの補助

○成田空港用地の強制代執行が始まった。
○第1銀行と勧業銀行が合併した。
○公害問題がますます深刻化してきたため、環境庁が発足した。
○岩手県雫石上空で自衛隊機が全日空旅客機に衝突、162人全員が死亡。
○この年、交番など警察関係を中心に過激派の爆弾事件が51件も発生した。
○ニクソンのドル防犯政策はドル安を招き、対ドル・レートの変動相場制へ移行し1ドル308円に円を切上げた。
○流行語「ガンバラナクチャ」
○流行歌「わたしの城下町」、「知床旅情」、「また逢う日まで」、「ピンポンパン体操」

金も受けて、住民負担はなしにしようというものでした。

昭和47年度　高橋喜作

思いでのいくつかについて、ふれさせて頂きます。その第一は、旧公会堂が高橋重太郎さんの好意により、ただ同然で土地を拝借して利用していたのですが、耐用年数が限界にきたため、新築しようということになり、15名構成の委員会（委員長養田真太郎氏）で準備が進められ、10月、工事費450万円、面積139.5㎡、総費用500万円で遂に完成しました。旧公会堂はなごり惜しいが解体しました。

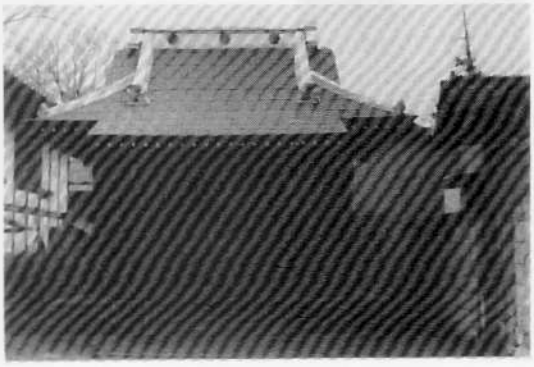
その2は12月1日の桃川小学校の100周年記念行事でした。この際の寄付金の合計は、200万9千円でした。

その3は荒牧小学校の開校です。町内に2つの小学校ができるということは、他の町に例のないことです。

その4は少年野球のことです。前橋地区大会で決勝戦まで進んだので、育成会長の丸山さんと相談してユニホームを作ることになり寄付を募ったところ、41,960円集りました。結果は惜しくも準優勝となりました。

この年に80才以上の方は13名、75才以上は37名でした。想い出はつきませんが、この辺にいたします。

○冬期オリンピック札幌大会が行れた。
○連合赤軍が妙義山にアジトを持ち大量リンチ殺人を行った。続いて浅間山荘に籠城し、逮捕される。
○沖縄の施政権が返還され、沖縄県が発足。
○田中内閣成立。日本列島改造論を発表。
○東京練馬に光化学スモック発生。
○日中国交回復、外交関係成立。パンダが贈られ人気者となる。
○鉄道の電化・ジーセル化が進みＳＬブームとなる。
○テレビ劇「木枯し紋次郎」が人気を呼ぶ。
○バイコロジー運動が始まる。
○この年の流行語「ヘンシーン」、「はずかしながら」
○流行歌「女のみち」、「瀬戸の花嫁」、「せんせい」、「旅の宿」、「喝采」



新田の不動様